

# 経営戦略（概要版）

広島県 三次市（平成28年4月1日現在）

業務名	業種名	事業名	事業着手年度	供用開始年度
地方公営企業法 非適用*	下水道事業	特定地域生活排水処理事業	平成9年度	平成9年度
住民基本台帳人口（人）：A	処理区域内人口（人）：B	普及率：B/A（%）	1か月 1世帯3人当たりの下水道使用料（円）：税込	経営戦略 次回更新時期
54,324	1,151	2.1	5,292	平成31年度（予定）

（※地方公営企業法 非適用とは、公営企業でありながら、資産等の概念はなく、現金による収入または支出を基準とする普通会計と同様の処理。）

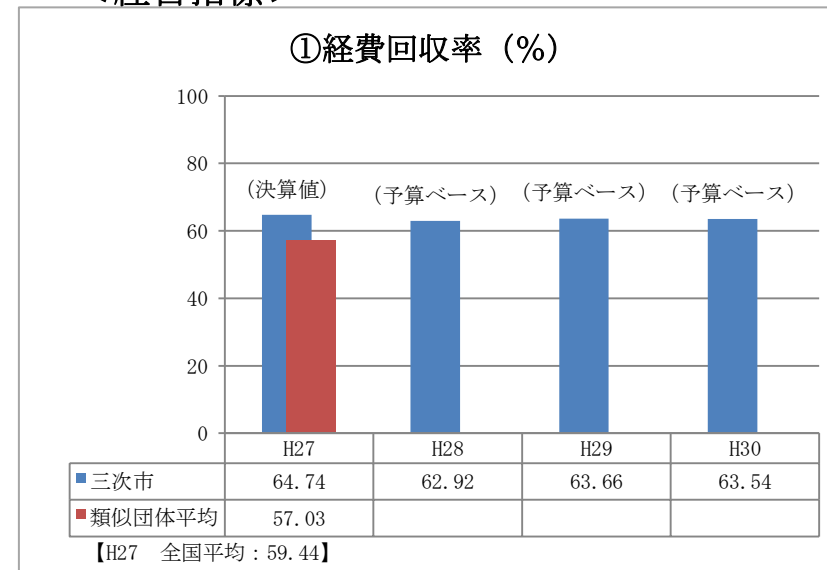
## 1. 現状

### <施設>

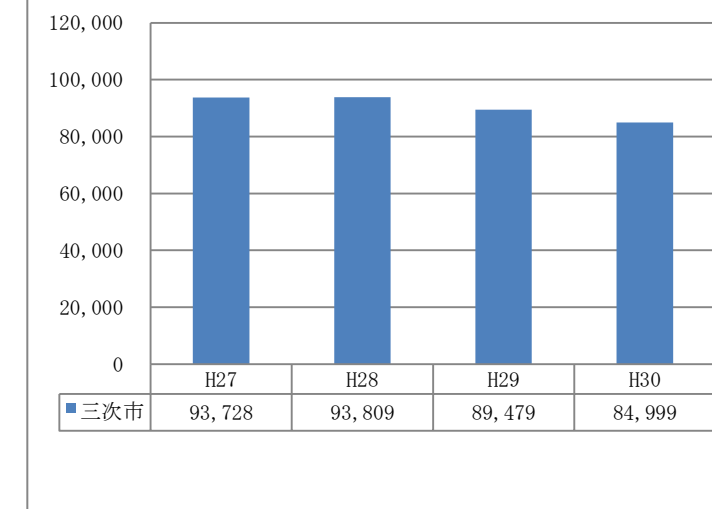
平成28年4月1日現在

地域	供用開始年度	基数
君田	平成14～19年度	146
布野	平成13～22年度	129
三和	平成9～17年度	88
和知	平成22～24年度	24
合計		387

### <経営指標>



### ②地方債残高（単位：千円）



「経費回収率＝料金収入／汚水処理費<sup>※</sup>」

（※汚水処理費＝汚水処理にかかる維持管理費と地方債償還金・地方債利息）

## 2. 課題

### <将来の使用料収入の減少>

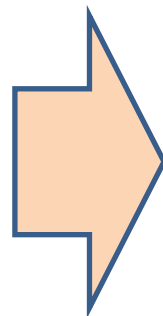
・国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月の発表によると、平成22年国勢調査を基にした将来推計人口は、平成27年度末の53,931人が、平成37年度末には48,401人となる見込み（10.3%減少）により、使用料収入減が予想される。

### <施設の老朽化>

・経年により、今後、維持管理コスト、更新コストが増加する。

### <適正な使用料の設定>

・経費回収率が低いことや、人口が減少する中、維持管理費を確保するため、適正な使用料の検討が必要となる。



## 3. 経営の基本方針（平成29年度～平成38年度）

### <支出の抑制>

・施設の点検業務や清掃業務のサービス水準を維持しつつ、経費節減を図る。整備は平成28年度で終了。

### <安定した経営の確立>

・維持管理費と更新費用の確保のため、定期的な適正な使用料の設定を検討する。

### <安定した汚水処理機能の確保>

・毎年度、年間の点検・修繕を計画的に実施する。